

令和5年度第2回みやぎ観光振興会議仙南圏域会議 議事録

1 開 会

2 挨拶

3 議 事

- (1) 第5期みやぎ観光戦略プランの実施状況・今後の目指すべき姿
 - (2) 今後の観光振興施策と財源確保の方向性
 - (3) 宮城県観光連盟のDMO化について
- ※ (1) ~ (3) ※観光政策課千坂課長が説明

(一條委員)

- ・議題1の18P「観光人材育成」について、今年9月に社員研修で東京ステーションホテルに行ったが、8月夏休みの客数は例年9割を超えるが78%が限界だった。都内の他のホテルは38%、清掃する人がいないことが原因で、清掃できればオープンできるができない状況。裏方がとても大事。東京ですら足りないのが現実。
- ・議題2 3P 宿泊施設の高付加価値化について。新規事業に関しての施策がない。新築は対象外となっているが、新築はリスクを負ってまで高付加価値化するのにそれに補助金がないのが不思議。
- ・人材については、とにかく人がいない状況。採用はリクナビを使って7~8年やっている。来年から合同企業説明会がなくなる。リクナビ掲載の他にブースを出すため40万程度かかるが、これまではブースを出していたので、宿泊業興味ある人は総取りできる。合説が無くなると痛手。採用の流れはインターンシップになる。これからはインターンを通じた新卒採用(中途含め)を後押しするような施策を考えていただければと思う。
- ・紙からデジタルへ移行するための補助があればと思う。ビジネスホテルでさえ客室案内などがモニター化している。それを旅館も導入しなければいけないので費用助成が必要。デジタル化については、経営者のレベル関心を上げるべき。
- ・台湾の客は布団だからという理由でキャンセルされた。また、清掃の面でもベッドであればベッドメイクで終わる。和室にベッドを導入する補助があればと思う。
- ・インフルエンサーが宿泊することで情報発信をする必要がある。
- ・宿泊税については仙台市で既に検討が始まっている。感情的になるのではなく、財源を確保し、自分たちで稼いでいかなければならない。用途を明確にすることが重要。

(伊藤淳委員)

- ・齋理屋敷の指定管理は3年目で今年が最後。1年目はコロナ禍で寂しい状況だったが、2年目は30%回復、今年は32%回復した。インバウンドはサイト「リアター」を通じて月1~2回は予約が入る。待っているだけではなく情報発信することで、利用客の確保につながる。
- ・人材育成の重要性を感じている。特に、ガイド人材の育成が必要。数年前はボランティアガイドが流行っていたが、有償の優良なガイドを増やすべき。滞在時間が長くなるとコンテンツ不足が考えられるので、観光客を満足させることのできるガイドの育成が必要。
- ・宿泊税については、事業実施のためには財源が必要なので、宿泊税は当然考えられる正しいこと。制度を作る順番として、ふるさと納税のポリシーが10月に変更になった。今年の丸森町のふるさと納税では9月に特需があり、前年同月と比較して20倍だった。10~11月は、前年比5%で95%の減。先を見越すのは簡単なことではないが、300円の宿泊税を導入することによる影響を見通し

て慎重すぎるくらいに検討を行っていただきたい。

(伊藤直美委員) ※代理大澤教頭

- ・開校したばかりで1年生は就職か進学か将来を見据え切れていない。地域産業の現状を今の高校生が知る機会がなく、高校では積極的に地域の方に声掛けして、地域の課題やそれに対して何ができるかを考えさせている。就職を希望する生徒もいるが、高校としても、どういう人材が求められているか勉強していかなければいけないが試行錯誤中。高校生が持つ力もあり、せんなんマルシェでのチラシ作成や呼び込みも協力して行うことができ、子ども達の持っているパワーを感じた。地域の皆様と協力しながら、観光資源と結びつけて何かできればと考えている。

(大沼委員)

- ・蔵王について、日本全国で蔵王というと8割が山形のイメージ。みやぎ蔵王をもう少し押し出してほしい。最近できた山形の道の駅に「蔵王」と名前が付けられてショックだった。蔵王は道の駅の名前にぜひ使いたいと思っていたのに残念。宮城は蔵王のイメージが弱い。もっと強く「みやぎ蔵王」のブランド力を向上させるような施策を行っていただきたい。
- ・宿泊税については必要だと思うが、金額は300円と前回の制度設計と同様とのこと。県内の宿泊施設でもホテルと旅館では体系が違う。温泉旅館では宿泊税と別に入湯税が150円かかり、宿泊税を合わせると450円の税金がかかる。入湯税と合わせて300円にしてもらえると旅館は助かる。450円は大きいという話が宿泊業が集まる会議でも出ており、うまくまとめてもらえればと思う。

(大宮委員)

- ・交通事業者として今年一年、徐々に人の動きが活発化していると感じている。最近だとキツネ村の利用客がかなり増えている。大型バスや中型バスを出しているが、オーバーツーリズムが起きている。利用者は9割以上外国人。英語や韓国語、中国語の対応をしなければならず、言語対応をしつかりやっけていかなければならない状況。
- ・外国人は遠刈田温泉まで波及している印象。一方で、コロナが明けたといっても、国内観光客の動きは鈍いように感じる。人気のテーマパークなどへは行くのだろうが、地方までは観光客が足を延ばさない。乗務員が不足している状況だが、継続して地域を盛り上げていくために、地域と連携しながら協力してやっていきたい。

(小野寺委員)

- ・人手不足で厳しい状況が続いているが、採用条件に合う求職者をつなぐのが難しい。人手不足に対してオペレーションを変更したりしているが、機械など投資する必要があるので、後押ししていただきたい。
- ・資料の中で、仙台空港からの観光として、交通に関する記載がない。受入する施設としては、バスの受け入れが可能かといった問題がある。大型バスで100名以上で来たいという方がいるが、うちでは対応できない。大型バスなどが来た時に待機場などどこに案内すればいいのかといった問題があるので、情報を整理して発信していただきたい。教育旅行の誘致として、昨年までは無かったが、今年は利府高校など県内各地の学校に来ていただいた。食事含め100名規模で受け入れる必要あるが、うちではBBQ施設が150名程入るため、平日なら受け入れることができた。教育旅行を周知するのであれば交通機関や駐車場など受け入れ先の情報の整理が必要。
- ・当施設では一部、動物とのふれあいや遊具など小さな子ども達向けのものはあるが、少人数の観光客向けの体験コンテンツがなくそうした部分は課題だ。
- ・「みやぎ蔵王」など地元の魅力を教育の中で授業等でも取り上げてほしい。

(嶋崎委員)

- ・東京出身で大学まで東京にいたが、東京の人は「蔵王」と言っても山形、宮城以前にどこにあるかも知らない人が多いと思う。関東圏から西の人達の「蔵王」の認知度はその程度が現実ではないか。
- ・頑張っただけで稼ごうというところに尽きる。すべての活動は点ではなく線であり、前向きな事業者を後押しすることが必要。
- ・人材育成について、外国人労働者を安い人材として使おうとすることは根本的な解決にならず反対。今の学生は飲食業や宿泊業に対するイメージが悪いと思う。中学生の娘がいるが、スタバなどキラキラしたバイトがしたいと言っており、居酒屋で稼ぐという時代ではないように感じている。ガッツリ働きたくないという学生も多い。時給単価を上げるなどきちんと稼ぐ力を身につけていかないと厳しい。
- ・宿泊税については必要。前向きな投資に補助をすべき。山元町のイチゴ農家さんにつながりがある。いちご狩りの人数が最盛期5万人いたが、去年か今年3万人に減ったとのこと。いちご狩り施設は仙台市内で増えている。周囲の環境が変わると自らの経営状況も変わってしまう。仙南に来てもらう理由となるソフトコンテンツしっかりと考えていくべき。

(村上委員)

- ・道の駅村田は今年で27年を迎える。利用客はコロナ前の9割ぐらい戻って来た。蔵王や温泉に来たというお客さんが多い。観光客は道の駅だけ、ホテルだけではなく、多くの施設を回っている。人材育成としては、仙南地域の魅力を全国発信するようなシステムづくりを充実させたら、もっと地域の魅力発信や活性化につながると思う。

(遊佐委員)

- ・年末年始の予約状況は、2018年と比較して108%で好調だと思う。ただ、平日の乗車率は9割程度までしか戻ってきていない。ビジネス客が会議や出張が減った影響があり、WEBに慣れてきているのでわざわざ出張するのが減ったのが理由だろうと思う。インバウンドの客が来ないと総利用者数は伸びないが、若干戻ってきている現状。白石蔵王駅は、今年の3月に6カ所合同の仙台統括センターという形になった。人員が厳しいのでいろんな箇所でも仕事ができるような体制づくりをしている。来年には、平日に客を動かすための平日限定のお得なキャンペーンを行うので、活用していただきたい。

(佐藤委員)

- ・「みやぎ蔵王」の話は全く同感。「みやぎ蔵王」のポテンシャルの高さに比べ、知名度の低さはもったいない。蔵王町、白石蔵王駅、蔵王古道、蔵王ジオパークなど蔵王と名の付く地名や駅名、素晴らしいコンテンツがたくさんある。蔵王の梨や蔵王の大根など食べ物もおいしい。関東圏の親戚は蔵王といえば山形と言っており、じゃらんの観光ランキングも山形蔵王で4位になっている。山形蔵王には地域的には県庁所在地のある山形市と上山市が入るので規模が違う。みやぎ蔵王については事務所は当然だが、県として応援しないといけない。
- ・観光連盟のDMO化は良いことだと思っている。仙南には宮城創生DMOがあるが、スペシャリストのアイデアが聞ける。ぜひ進めていただきたい。
- ・プラン概要版裏面右 仙南地域の(2)(3)の「広域連携」の記載について、仙台は仙山交流、登米にも広域連携がある。仙南地域の広域連携では管内の2市7町との連携だけではなく、山形福島との3県連携にも積極的に取り組んでいる。山形福島の色合いをもう少し出してもいいのではないかな。修正する機会があれば修正したい。

(宮原委員)

- ・宿泊税についてはコロナ後で状況が変わったので、その必要性は再度検討されるべき。県の観光施策の取組案を見ると、ピンポイントで用途を定めている印象。宿泊税を既に導入している他の自治体の用途方針はざっくりしているが、宮城県は現在の観光の予算を再確認して、宿泊税の予算をどういったことに使うのが適当なのかを吟味していただきたい。コロナ時は、宿泊施設がコロナ対応の修繕やリニューアルをしたと思うが、コロナ後は、前に進む事業者を支援するような用途にできればいいのではないかと。全体を見渡して棚卸しをして、誰もが納得するような取組案、使い道を示していただきたい。

■ 全体へのコメント（観光政策課 千坂課長）

- ・人材育成、確保の問題、「みやぎ蔵王」の認知度向上の必要性等、さまざまな貴重な御意見をいただいた。先日、蔵王は山形じゃないかと外国人の方からコメントもあったが、県としても支援を行っていければと思う。

■ 議事（４）仙南圏域の観光施策の実施状況について

※事務局、各市町、東北国営公園事務所から主な取組について説明。

【質問・意見なし】

■ 議事（５）※みやぎ蔵王三十六景地域の逸品の推奨について

※事務局から資料５により説明。

【質問・意見なし】

→ 1品目について推奨承認された。

■ 議事（６）その他

特になし

4 その他

特になし

(以上)